

平成 28 年度 第 3 回 十和田市病院事業経営審議会 議事録

- 日 時 : 平成 29 年 2 月 21 日 (火) 15:00~16:00
- 場 所 : 十和田市立中央病院 別館 2 階講堂
- 出席者 (委員) : 畑山親弘、舛甚英文、氣田量子、斉藤重美、堰野端展雄、
小嶋泰彦、高橋俊介、鳥越正美、洞内末吉、古川あき
- その他の出席者 : 松野事業管理者、丹野院長、成島医局長、築場看護局長、須藤技師長、
清水技師長、森技師長心得、石井主任臨床工学技士、接待事務局長、
遠藤医事課長、下川原業務課長
- 次第 : 1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 病院事業管理者あいさつ
4. 病院長あいさつ
5. 議 事
 案件 十和田市立中央病院新改革プラン (案) について
6. 閉会

<p>下川原業務課長</p>	<p>本日はお忙しい中ご出席頂きまして有難うございます。本日の司会を務めます、業務課長の下川原でございます。よろしくお願いいたします。</p> <p>本日は伊藤委員から欠席のご連絡を頂いております。もう一人まだお見えでないようですけれども早速始めさせていただきます。</p> <p>それでは、第3回目の経営審議会の開会に先立ちまして、お配りしております資料の確認をさせていただきます。</p> <p>委員の皆様には郵送してございますけれども、まず、新公立病院改革プランの概要、十和田市立中央病院新改革プラン(案)、(別紙1)収支計画、年度別収益的収支・資本的収支の状況でございます。資料の不足等ございましたらお知らせいただければと思います。よろしいでしょうか。</p> <p>では、ただ今より、「平成28年度第3回 十和田市病院事業経営審議会」を開催致します。議事に入ります前に、畑山会長から挨拶がございます。</p>
<p>畑山会長</p>	<p>こんにちは。本日は大変ご多忙の中ご出席を賜りありがとうございます。前回、1月18日に第2回の病院経営審議会では、この新改革プランについて活発なご審議をいただきました。大変ありがとうございます。今回は、前回の審議を踏まえまして、向こう5年間のプランが事務局案から出されております。どうか慎重なご審議をいただきたく、よろしくお願い申し上げます。以上です。</p>
<p>下川原業務課長 松野事業管理者</p>	<p>次に松野事業管理者よりご挨拶を申し上げます。</p> <p>松野でございます。本日もお忙しいところ審議会にご出席いただきましてありがとうございます。これまで、中央病院の新しい改革プランにつきましているいろいろご検討をいただきまして、その、いただきましたご提言などにつきまして、最終的なプランをまとめましたので、本日はそれにつきましてご検討をいただきたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。</p>
<p>下川原業務課長 丹野院長</p>	<p>続きまして、丹野院長よりご挨拶申し上げます。</p> <p>院長の丹野です。皆さまご苦勞様でございます。短期間の間に再び委員の皆様にお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。今日はその改革プランの微調整をしたものを一応ご確認いただきましてご承認いただくということでございますので、本当によろしくお願ひしたいと思っております。</p> <p>挨拶はこれで全てなんですけれども、大変いい機会なので冒頭のこの時間を少しいただいて、前回医師が増員になるというお話をさせていただきまして、これが大分固まってきたので、その辺をもう少し詳しくご報告しようと思ひました。実は前回4月から4名の医師が増えるという話をさせていただきましたが、その後嬉しいことがありまして、もう1名増員になりまして5名増えるという形になりました。実は今年の10月からですね、整形外科医が1名、泌尿器科医が1名増えております。それぞれ、整形外科常勤医が3名体制、泌尿器科常勤医3名体制という形で頑張らせていただいております。当院、そういう意味で外科系の医師は少し充実してきたかなと思っておりますが、以前から当院は内科系の医師が非常に少ないというのが、大きな課題であったかと思うのですが、今回来てくださる5名の先生方は全て内科系ということで、非常にありがたいと思っております。詳しくお話ししますと、1名は消化器内科の先生でございます。当消化器内科が待望の3名体制になります、常勤医がですね。もう1名は循環器内科の先生でございます。今、ある意味でお一人で頑張ってく</p>

	<p>ださっている分がありますし、実は総合診療科と掛け持ちの先生がバックアップをしてくださっているのですが、実質1名で頑張ってくださいているところにもう1名加わって2名体制になりますので、かなり楽になると思っております。残りの3名の先生方は総合内科の先生方です。ですので、救急診療とか、そちらの方をもう少し充実させることが出来るのではないかと考えています。</p> <p>もうひとつ病院にとってすごく有難いのは、この5名の先生方が若手で…、若手やベテランがどうのこうのとかではありませんが。若手の先生でありまして、卒後5年、7年、9年、10年、12年の先生方です。ですから、非常に、何と申しますか伸びざかりの先生方でありますので、ぜひ働きやすい環境を整えて、頑張ってもらえるように、病院全体でこの4月からのスタートをしたいと思っております。その辺のご報告をさせていただきます。本日は、よろしくお願ひいたします。</p>
下川原業務課長	<p>これより議事に移ります。議長は会長が務めることになっておりますので、会長よろしくお願ひします。</p>
畑山会長	<p>それでは議事に入らせていただきます。今回の審議会では、最終案となります「十和田市立中央病院新改革プラン(案)」についての審議となります。前回は「十和田市立中央病院新改革プラン(案)」の概要を説明したほか、ご意見があれば2月3日までFAXで提出をくださるようお願いしておりましたけれども、特に無かった様なので前回からの変更内容について事務局から説明をお願いいたします。</p>
下川原業務課長	<p>それでは私の方から説明させていただきます。まず1枚ものの収支計画、別紙1というものでございますけれども、その「3.一般会計等からの繰入金の見通し」についてご説明申し上げたいと思います。この表の二段目、資本的収支の欄の網がかかっているところにカッコ書きの数字がありますけれども、これは一般会計からの基準外の繰出し金というものを出しております。この平成29年度までと30年度以降を比較いたしますと、金額が大きく減っているのがお分かりになっていただけるかと思ひます。ちなみに29年度は247,000千円ですが、30年度は163,000千円となっております。これは、病院の会計から新病院の建設費の元金を返済しておりますけれども、平成29年度まではその100%を一般会計から繰り入れることとなっております。しかしながら、そもそもこの50%は基準外の繰入れでございます。来年度予算との協議の中で、市側と話をし、30年度以降はこの基準外の繰出しを徐々に減額していき、基準外に頼らない経営を目指して行ってほしい、行くべきである、ということがございまして、これを受けまして30年度から金額が減っているということになっております。ただしその下の合計の欄がございます。例えば平成29年度ですと1,351,000千円、30年度は1,364,000千円となっております。この繰入金の総額は、同額か少し増えていることとなりますけれども、これは青森県地域医療構想の中で、当院が地域で果たすべき役割として急性期医療を充実させるということが言われております。この急性期医療につきましては、一般的に採算が非常に難しいということで、取るのが難しいということで基準内の繰り入れが認められております。これが膨らんでいくものと今後見込まれるところから、総額としては同程度で平成32年度まで推移していくということを見込んでおります。それに基づきまして、収支等の計画を立てているところでございます。私からは大きく変わったところにつきましてご説明させていただきました。以上でございます。</p>
畑山会長	<p>事務局長からは説明はありますか。</p>

<p>接待事務局長</p>	<p>はい、では私から。課長の話と重複するところが少しあるかと思いますが。A3 版横の「年度別収益的収支・資本的収支の状況(H18～)」をご覧ください。基本的には前回と同様、平成 29 年度は現金ベースでの黒字でスタートして 32 年度までの計画であります。今、課長からもありました一般会計の繰入欄、平成 29 年度の投資予算の上段の表の下の方の数字を見ていただきたい。「他会計繰入金再掲」とありますが、それが 1,350,689 千円となっております。実は前回お示した 1,368,000 千円はその時の要望でもありまして、その時より 18,000 千円程減額となっておりますが、前年度と比較をするとそれでも合計で 40,000 千円位増となっております。市長と副市長とのヒアリングの中で、いろいろお願いしながら、前年よりは多くということ繰入金をいただけることとなりました。それをベースにして 30 年度、32 年度までの収支計画で、前回もお話した通り、何とか現金ベースでの黒字は確保していきたいと考えております。ここには全く数字が載っていませんが、先ほど課長が言った繰入金も、特に副市長から言われたのですが、全く基準外は繰入れしてあげないというお話もございました。ただ、我々からするといきなり 250,000 千円近い金額が減るとことは経営上非常に厳しいということで何回かお話して、先ほど課長が言ったとお 30、31 年度は基準外の 3 分の 1、32 年度は基準外の 2 分の 1 に減らしていくということで、この計画を作ったものでございます。</p> <p>前回も申し上げましたが、今年度はなかなか改善につながらなかったのですが、平成 29 年度は改めて管理者、院長の基に職員一丸となってこの計画を基に 30 年度以降改善につなげて行きたいと思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。私からは以上です。</p>
<p>畑山会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。ただ今、業務課長と事務局長からそれぞれ新改革プラン(案)につきましてございました。これについてご意見ご質問等ございましたら発言をお願いいたします。</p>
<p>舛甚委員</p>	<p>はい、舛甚委員。</p> <p>改革プラン 15 ページの「エ 病床利用率が特に低水準である病院における取組み」、当院ではそういうことになるでしょう。目標としてはこの間 70%以上できていると思えますが、「引き続き入院患者増に関わる取組みを行います」とありますけれども、何か具体策はあるのか。例えば、外来が増えれば医師は困る訳ですよね、入院患者の対応ができなくなると。入院患者が増えるということは、連係プレイで他の病院から回される方はだいたい入院が必要な方の紹介、ということになるろうかと思えます。それから、私が思うには、病院で手術できるものは出来るだけすると。過日も私の知り合いが結核になったと。ところが結局当院から八戸の市立病院へ回されたのです。私もそこはよく分かりませんが、回すにあたって当該の医師一人の判断で回したのではないのではないかと、そういう場合は恐らく何人かの医師の集団の話し合いの中で、このケースの場合はこれがベターだろう、うちでは対応が難しいとか、そういう相談の結果なったのだらうと私は思っています。もしもこれが当院で手術できれば、当然入院患者になっていくわけですね。ですからその部分の判断が非常にあろうかと思うのです。その辺のところを、今は私の勝手な思いでお話ししましたけれども、その辺の実態というかやり取りというのを、あまり具体的でなくても構いませんので、一般的な話としてどういうことで対応なさっているのでしょうか。</p> <p>はい、接待事務局長。</p> <p>はい、後半の方は院長に説明してもらおうので、まずは病床利用率のお話をさせていた</p>
<p>畑山会長 接待事務局長</p>	

<p>畑山会長 丹野院長</p>	<p>できます。ここに書いてあるとおり現状 70%でした。今年度の目標が 10 ポイントアップということで取り組んでいますが、12 月、1 月までで 70%少し位しかいっていません。ただ、今 2 月に入りまして、先日の医局会でもお話ししましたが、グッと増えました。季節的なこともあろうかと思いますが、最高 277 名。今まで 230 名前後だったのが 277 名までいって、19 日現在では 260 名近く入院患者さんがいます。260 名ということは、利用率の 80%なので。前にもお話ししましたが、何とか利用率を維持して 4 月このままスタートできればということで、これからも取り組んでいきたいと思っています。10 ポイントアップの 80%を目標にご協力をいただきながら進めていきたいと思っています。</p>
<p>畑山会長 古川委員</p>	<p>はい、院長。</p> <p>私の方からは、恐らく医師同士のカンファレンスの重要性のことをご指摘いただいたかと思っています。実際のところは、外科と内科のカンファレンスに関してはかなり充実してやっていると私も思っておりますが、やはりお一人で診療なさっている内科の先生方もいらっしゃいます。それはもう専門科でありまして、その先生は基本的にはまだ科同士のカンファレンスという状況までは、いわゆるマンパワー的にできないというところが正直なところなんです。この 4 月から、先ほどもお話ししましたが総合内科の先生たちが入ってきますと、総合内科はいろんなところの間を埋めるといいますか、潤滑油的に相談をし合えるような環境を作ってくれるようお願いしたいと思っています。そうしますと複数でいろんなカンファレンスが出来て、当院でしっかりできるものは当院でやっとうと、合議的に出来ていこうと思っております。その辺でも、医師のマンパワーの充実をいろんな面で良い方向へ向かわせたいと思っております。大変良いことを言っていただきました、ありがとうございました。</p> <p>はい、他にございませんか。はい、古川さん。</p> <p>今日の発言が少し遅いかもしれませんが、14 ページの「(3) 目標達成に向けた具体的な取組み」で「ア 医師等人材の確保・育成」となっておりますけれども、医師の確保は先ほど院長先生から 5 名の増ということでも好ましいと思います。地域の方々から、医師または看護師の接遇についてどのような研修をしているのかということとを再度聞いていただきたいというのがひとつございました。それからもうひとつ、ここの欄に確保とあるんですけども、育成部分というのがひとつも無いのです。例えば前回 2 回目の時に、私お話ししたのですけれども、看護師さんの方は看護局長さんからお話していただいて、非常に努力をしているという発言がございました。ただ、実際に患者としてこちらに来た時に、医師や看護師さんたちの接遇の部分について、心に不満が残るといような例もございました。ですから、ここの具体的な取組みの中に、例えば「医師・看護師の質の向上」とか、そういう文言が入った方が良いのかしらということがひとつ検討していただきたいということと、4 ページの「イ 基本方針」のところにいるいろいろ書いてございます、「生活に寄り添う視点で効率のよい医療を行う」というのは急性期医療が当病院の第一目標でございます。ここで「病院が提供する医療の質の向上を図り」とあるのですが、ここの医療の質の中に看護が含まれるのかどうかというところ。看護というのは、23 年の保健助産婦看護婦法にも 1 と 2、ふたつ載っていますけれども、1 つは診療の介助、2 つ目は病院の看護ということで 2 つ目に載っています。その部分で、例えば急性期医療のところ、良い看護、例えば清潔・温かさ・適切な介護によって、患者の生命力の消耗を最小限に留めるとか、身の回りの世話によって病気の回復力の力を整えるというのが、看護の重大な目標です。その辺をもう少しこの基本方</p>

<p>畑山会長 丹野院長</p>	<p>針の中に謳ってもいいのかなど。今日言うのは、ちょっと遅いかもかもしれません。ただ、「病院が提供する医療の質の向上」のところに看護を入れていただきたいし、それから誰もが理解できる、納得できる医療のところに看護ということを入れた方がより分かりやすいのではないかと考えていましたので、その辺を、今日だと少し遅いのかもかもしれませんけれども。ただ接遇については、院長先生の方からどの様に行っているのかご報告いただければと思います。以上です。</p> <p>はい、院長。</p> <p>私の方から、接遇に関しまして。接遇のいろんな研修というのは定期的にやらせていただいているということでありまして、院長直行便という患者さんやご家族からの苦情も含めた投書箱がありますが、その中には接遇の問題はちょこちょこあります。その都度、その部署等に指導を入れているという現状です。医師に関してもあがってきます。それに関しても、私の方から出来るだけ指導するようにしているというのが今の現状です。確かに、まだまだ全てに行き渡っているとは思いません。これは力を入れなければいけないと思っています。あと、育成に関しましては、そこは非常に重要なところでありまして、ご指摘のように育成の部分が確かに何も無いということでありまして、確かに落ちているなど私も感じました。医師の育成に関しまして、初期研修医等をもっともっとしっかりうちでもたくさん採って指導していきたいという状況もありますので、これには今度来る若手の先生たちも、自分のすぐ目の前に目標がいるというのが教育上とても大事なところでありまして、そういう年代が当院は今まであまり多くなかったというのがありますので、そういう形でも少しいい状況に持って行きたいと思っています。</p>
<p>畑山会長 築場看護局長</p>	<p>それから基本方針に関しましては、基本的にはこれは看護局長からあるかもしれませんが、この医療の中には看護師さんも全て入っております。これは病院全体の基本方針という形ですので、これは病院職員全員の目標になっております。あとは、看護師さんの目標に関しては、看護師さんの方でも作っているのもありますのでそこはお願いします。</p> <p>はい、看護局長。</p> <p>看護局長の築場です。この病院の理念「いのちをみまもり いのちをささえ いのちをつなぐ 医療の実践」に伴い基本方針が設けられています。この病院の理念と基本方針に沿ったものを、看護局の基本方針と目標という形で掲げております。院内の中にも、この病院の理念と方針の隣に、看護局の理念と方針というものをタイアップさせて貼らせていただいて、同じ方向で向かっているということを示しております。</p>
<p>畑山会長 洞内委員</p>	<p>接遇に関しては、前回回答をしましたけれども、その後も次年度の計画としても接遇の抜打ちチェックとかを計画して少しずつアドバイスをいただきましたのでステップアップするように努めて参りたいと思っています。ありがとうございます。</p> <p>はい、他にございませんか。はい、洞内委員。</p> <p>赤字損益が公立の場合は全国で 80 近くあると書かれておりますけれども、当院もそのひとつではないかと思っています。ということで質問しますけれども、一般会計からの繰入金に対してこれに対する国からの交付金などがあるものかどうか。例えばあるとすれば、どれくらいなのか教えてもらいたい。案に対しての修正とかではなく質問ですので、よろしく願います。</p>
<p>畑山委員</p>	<p>はい、業務課長。</p>

下川原業務課長	<p>国からの交付金はございます。国からの交付金は、稼働ベッド数×単価という形で基本となっておりますけれども、ちょっとうる覚えですが確か6億7千万円程度の金額が入っているはずで。その他、一般会計繰入金の方の財源として聞いておりますのは、六ヶ所にあります原燃のお金が入っている。これが約5億円程度加わっているということです。足しますと11億いくらかという金額になります。その他13億いくらかの差額は市民の方々からの一般財源という構成になっております。</p>
畑山会長 堰野端委員	<p>よろしいですか。他にございませんか。はい、堰野端委員。</p> <p>28年度の見込みで、また3千万円程ですか、膨らんでますけれども、29年度は先ほどお話しにもあったように繰入金も少なくなる、という中で、単年度収支が前回の時に452,000円程でしたけれども、今回380万、端数ですけどもちょっとに増えると。非常に、その辺をどのような考え方で、一般会計からの繰入れが減る中で逆に増えるという見込みをした理由を教えていただければと思います。</p>
畑山会長 接待事務局長	<p>はい、事務局長。</p> <p>現金ベースの計算は少し複雑で、ここで上手く説明できないのですが、計算して前回より3,800,000円増えたということです。あと、繰入金については総額で、全体的に40,000千円位増えていました。これも市の方の財政ともいろいろやりくりして、当初は大幅に減らされたのですが、そこを何とか頑張って食い下がって何とか繰入金をということで、29年度はこれだけ確保したのですが、30年度以降はその都度協議して市の方の財政もあるので、協議しながらということで29年度はこの分を獲得した結果、現金ベースで3,840,000円の現金ベースの黒字でしたということでございます。</p>
畑山会長 堰野端委員 接待事務局長	<p>よろしいですか。はい、堰野端委員。</p> <p>確認です。29年度の繰入金は下がりますよね。</p> <p>すみません。要は、経費を削減したというのも大きな要因です。一番分かりやすいのは医療機器をだいたい年間2億円くらいずつ買って更新してきましたが、そこも管理者と院長の一声で何とか今年度は1億円以内、できれば80,000千円位で経費も半分くらいに絞ったということも、今の大きな要因でございます。</p>
堰野端委員 畑山会長 小嶋委員	<p>はい、以上です。</p> <p>他には。はい、小嶋委員。</p> <p>基本的なことをお聞きしますけれども、何年か前ですけども外部委員の委員会をやったことがありますよね。いろんな病院長とか教授とかを集めて。その時に身の丈に合わない病院を作るからだとかいう話が出たと記憶していますが、病院建設費がかなり掛かっている訳ですけど、そのことと数字の問題というのはどのくらい絡んでいるのですか。</p>
畑山会長 接待事務局長	<p>はい、事務局長。</p> <p>直接の答えにはならないと思うのですが、要は病院を建ててお金をいくら払っているかということになると思うのですが、単純に建物の元金分で大体5億円位です。その内の、2分の1は基準内の繰り入れで2億5千万円は貰っているのですが、残りの2億5千万円を先ほどの数字、基準外としてもらっている。建物の元金分の借金を返すのは平成51年度位まで返さないといけない。</p>
小嶋委員 接待事務局長	<p>いくら払っているのですか？</p> <p>総額で。</p>

小嶋委員	総額ではなくて年間で。
接待事務局長	これはまた年によって違ってくるので、建物で5億円、利息が2億円位ですので7億円くらいです。
小嶋委員	それはかなり響いているのではないですか？
接待事務局長	はい、響いています。
小嶋委員	当時、病院建設したのは議会の承認があったからですね。ということは、議会の皆さんにも責任があるということですね。
接待事務局長	そう言っていただけると、ありがとうございます。ただ、出来てしまった病院、私は、こんな立派な病院を作ったので、それをいかに上手く活用していくかということだと思うので。
小嶋委員	出来てしまったのはしょうがないですが、大変だなと思って言っただけです。
接待事務局長	ありがとうございます。
畑山会長	はい、鳥越委員。
鳥越委員	先ほど、この基本方針とか理念とか、それに皆さんがその気持ちになって進んでいくというのは理想的な形なのですが、ただ、それに合わせた様な形で、今月は、今日一日はという具体的な目標、ここへこのように進んでいく、ここまで辿り着く。こういったことが実際に細かいセクションで立てているのでしょうか。と言うのは、どんな経営セミナーに行っても、1人の人が管理できるのはだいたい10人が限度と言うのですね。そうすると当院は553人のセクショントップが必要となってくるわけですよ。そういうような形で、理念、または目標、基本方針それらを共有して具体的にこうして行こうという方法は採っておられるのですか？どうですか？
畑山会長	はい、院長。
丹野院長	はい、お答えします。非常に重要なご指摘でありまして、実は病院の年間目標みたいなものは立てております。それに対して、それと連動するような部署目標がまだしっかりと連動がもうひとつというのは、我々も感じていましたし、昨年10月に受けた病院機能評価でも指摘された事項でもあります。ですから、来年度に関しては出来るだけシンプルな病院目標を立てて、その目標に対して各部署が、具体的にどういうことをやっていくかということを立ててもらおうということで、やって行きたいというような形を考えていまして。まだ十分でないという状況ですが、そのような問題意識を皆で共有しているということはお答えしておきます。ありがとうございます。
畑山会長	はい、鳥越委員。
鳥越委員	ぜひそのように頑張ってください。 もうひとつ、ある方から行ったらぜひ伝えてきてほしいというお話をいただいたので、少し言いにくいのですがお伝えさせていただきます。 去年の今頃だったそうでございます。こちらに診察に来ていた方が、お医者さんと対峙していろいろと症状の方をお話しなされて、いろんな事を患者さんの方から質問すると「加齢ですね」「それは、加齢ですね」という、何分かの診察時間の間で一度も自分の顔を見たことが無かった、そのお医者さんは。その翌日、その患者さんは他所へ移ったと。移ったら加齢ではないところもあったらしいのです。ですから何よりも、顔を全く見ないで何分かが過ぎ去った、というこのことをもっと少し重要に考えていただくように、話してきて欲しいと言われましたので、ご報告というかお知らせいたします。これは答弁結構でございます。

<p>畑山会長 鳥越委員 畑山会長 氣田委員</p>	<p>要望でよろしいですか？</p> <p>はい。</p> <p>他にございませんか。はい。氣田委員。</p> <p>はい、私も市民の方からぜひこの場で言ってほしいということがありまして、お話したいのですが。中央病院は紹介をされてくる方が主だと思うのですが、個人病院の方にかかっている、その個人病院にぜひ中央病院を紹介して欲しいと患者さんの方から頼んでも、その個人病院のお医者さんは中央病院を紹介してくれないといった事例が複数あるということで、相談されたのですが。中央病院と医師会との話し合いと言いますか、こういった時には紹介するというのがあるのでしょうか。</p>
<p>小嶋委員</p>	<p>ひとつはですね、紹介状が要するというので、例えば私の所に来て、全く初めての人が来て紹介状だけ書いてくれとか、困ってしまう事があるのです。自分が今まで診ていた患者さんであれば、書くのは全然問題無いのですが、全く見たことない人が紹介状のためだけに来るというのは、それは中央病院もやり過ぎではないかと思うのです。そこまで形式に囚われることは無いと思うのですが。</p> <p>例えば、中央病院で A という科で診ていた患者を、B という科で診た方が良いという時に、いちいち一回帰して紹介状を持って来いとかいう話も聞いたことがあるので、それは無いだろうと。A が診て B だと思ったら院内でやって欲しいと、私は思っていますが。どうなんですか？</p>
<p>畑山会長 丹野院長</p>	<p>はい、院長。</p> <p>はい、あるかもしれません。恐らく、そういう話が先生の耳に入っているということは、きっとあるんだと思います。それは大変申し訳ないです。確かに院内連携というのは重要な目標として挙げていることです。それも含めて 4 月からの総合内科の先生たちに。</p>
<p>小嶋委員 丹野院長</p>	<p>臨機応変にやってほしいなど。</p> <p>そうですね、飛び込みの患者さんにも対応を。いわゆる救急車ではなく、直接いらっしゃる方とか、そういった方への対応というのも病院全体で少し良くしていきたいと思っております。大変貴重な意見として受け止めておきます。ありがとうございます。</p>
<p>畑山会長</p>	<p>はい、他に質疑等はありませんか。</p> <p>それでは最終的に、この「十和田市立中央病院新改革プラン」で異議なし、ご了承ということでよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。</p>
<p>下川原課長</p>	<p>では最後に、今後のスケジュールを事務局からお願いしたいと思います。</p> <p>皆さんにご了承いただいた「十和田市立中央病院新改革プラン(案)」の正式なものを後日皆さまの方に郵送したいと思います。それから、今後は議会の全員協議会というのがありますけれども、最終日の開催が予定されていると伺っておりますが、最終日にその機会を得まして議会側の方で説明したいと思います。また、県の方にも報告がございますので。ホームページの方にも、正式なものが出ましたら掲載して参りたいと思っております。</p> <p>来年度また、経営審議会がございますので、その場でその後の状況につきまして皆様に報告していきたいと思っております。以上でございます。</p>
<p>畑山会長</p>	<p>それでは以上を持ちまして平成 28 年度第 3 回経営審議会を終了させていただきます。皆さま大変ご協力をありがとうございました。</p>

